

小学校では3年生になって1カ月がたち、日能研では3年生になって3カ月がたちました。学習のペースはつかめてきたでしょうか。

文章は少しずつ難しくなってきますが、授業動画で説明している通り、物語文、説明文とそれぞれの読み方を使うと、内容をつかみやすくなります。各回のはじめで読み方をたしかめているのでよく聞いてください。

今月もがんばっていきましょう。

第11回～第13回では説明文、第14回は主語・じゅつ語を学習します。

文章が難しいと感じたときこそ、形式段落ごとに内容を整理するとよいでしょう。また、第13回で説明文の学習に区切りがつき、第14回をはさんで第15回からは物語文を読んでいきます。また説明文を学習する機会がありますが、ひとまずの終わりとして読み方をたしかめましょう。

◆第11回 漢字勉強室④／お金はどうしてまるいのか（説明文）

漢字はトメ・ハネなどに注意するのはもちろん、棒の長さにも注意する必要があります。筆順がのっているページには、それぞれの漢字で特に注意してほしいところも書いてあります。よくたしかめてください。

文章は説明文を読んでいます。「形式段落」と「意味段落」のちがいは覚えているでしょうか。形式段落ごとにどのような内容が書かれているのかを整理することで、意味段落にわけすることもできます。また、話題をとらえることも忘れないようにしましょう。

◆第12回 漢字勉強室⑤／ほねをうごかすきんにく（説明文）

漢字の練習では、ハネるべきところはきちんとハネましょう。練習ページの白抜きの漢字をていねいになぞりましょう。

文章は説明文です。書かれている内容をわかりにくく思ったら、形式段落ごとに立ち止まって考えることはもちろん、絵などをかいてみてイメージをはっきりさせるとよいでしょう。

◆第13回 漢字勉強室⑥／海と人間のつながり（説明文）

テンの向きにまで注意する必要がある漢字もあります。漢字の練習はゆっくりていねいに取り組みましょう。初めて習うときに細かなことまでたしかめつつ、練習してください。

今回も文章は説明文です。ここでいったん説明文の学習は終わります。話題、形式段落、意味段落など、説明文の読み方を思い出しましょう。今回の文章には「第一」「第二」「第三」という言葉があるので、どのようなことに対して内容を並べているのかを考えてみるとよいですね。

◆第14回 漢字勉強室⑦／ことばの勉強室(2) (主語・じゅつ語)

棒をつき出す・つき出さないで違う漢字になるものもあります。今回は「申」がそれにあたります。
ていねいに練習することで書き間違いは減っていくでしょう。

第10回以来の「ことばの勉強室」です。今回は主語・じゅつ語を学習します。主語やじゅつ語のさがし方、じゅつ語の種類を学びます。普段はなかなか意識しないことですが、この回ではしっかり考えてみましょう。

回数	文章読解のポイント	「本科教室」 ここだけは押さえておこう	「栄冠への道」 必ず解いてみよう	「本科教室」 この問題にチャレンジ
11	【説明文】 話題と段落内容 をつかむ。	漢字…すべて 文章… 問一 ★問二 ★問三 問四	問二 問七	問五 問七 問八
12	【説明文】 話題と段落内容 をつかむ。	漢字…すべて 文章…★問二 ★問三	問一 問二 問三	問四 問六
13	【説明文】 話題と段落内容 をつかむ。	漢字…すべて 文章… 問二 ★問三 ★問四	問一 問三 問四 問五 問六	問五
14	【ことば】 主語・述語	漢字…すべて 問題…すべて	すべて	すべて

……→ は関連する問題であることを表しています。

5月は今までよりも本格的にいろいろな学習を進めていきます。第11回は約束記号、第12回はあまりのあるわり算とわり算のくふう、第13回は線分図と文章題の基本、第14回は量と単位換算、第15回は図形の分割・折り曲げを学習します。

各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第11回 いろいろなルールを考えてみよう① 約束記号・演算

今回はきまりにしたがって計算するタイプの問題を考えていきます。問題をよく読んで、きまりをみつけたり、書いてあるきまりにしたがって計算したりしていきます。何よりも、どんどん手を動かして計算を進めていくことが大切です。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

やってみよう 1～6

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

1, 2

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・できるかな? 1, 2

栄冠への道・・・チャレンジ! 1, 2

◆第12回 わける・くばる…② 割り算と文章題②

今回は、あまりのあるわり算と、筆算をしなくても解けるわり算のくふうを学習します。わりきれるわり算では、あてはめる九九とわられる数が同じ数でしたが、あまりがある場合は同じ数ではないので、自信を持って九九をあてはめられるかどうかのポイントです。正しく練習すれば必ずできるようになりますから、しっかりと練習していきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

やってみよう 1～5 できるかな? 1, 2

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

1～3 チャレンジ! 1

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・できるかな? 3～8

栄冠への道・・・チャレンジ! 2, 3

◆第13回 線分図をかいてみよう① 線分図を使って文章題を解く

文章題を考えるときには、線分図をかいて、整理して考えることが重要です。はじめのうちは、なかなかうまくかけませんが、テキストの図にかきくわえながら練習していくことでだんだんとかけるようになっていきます。学年が上がると、線分図がうまくかけないと解けない問題がふえていきます。今のうちからたくさんかいて、十分になれておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

やってみよう ～ できるかな？ ,

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

チャレンジ！

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・できるかな？ ～

栄冠への道・・・チャレンジ！ ,

◆第14回 長い短い重い軽い 量と単位換算

ふだんの生活で用いる量の単位は、場合にあわせて大きさのちがう単位を使い分けることが大切です。ですから、 $1\text{ km}=1000\text{ m}$ 、 $1\text{ kg}=1000\text{ g}$ 、 $1\text{ m}=100\text{ cm}$ などの1あたりの量のきまりを正しく頭に入れることがなによりも重要です。また、位取りにもよく気をつけて、正しく計算できるように練習しましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

やってみよう ～ できるかな？

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

, チャレンジ！

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・できるかな？ ～,

栄冠への道・・・チャレンジ！ ,